

枚方市・交野市でご縁のある皆様へ

森繁さんを偲ぶ会に参加して

枚方市民会館で、敬愛する森繁久弥さんの偲ぶ会が開催され参列する機会を得ました。既に NHK はじめ各マスコミでも速報していたのでご承知の方も多いと思いますが6日当日には交野市出身の平野官房長官も東京から駆けつけ、主催者の竹内枚方市長、榎本議長に続いて追悼の辞を読み上げられました。

ところで、当日全員で斉唱した「枚方市歌」は（昭和22年<1947>10月制定）市政発足時に制定されたようです。昭和22年即ち敗戦後2年目の出来事と云えば

01/18 全官公庁労組共闘委, 2・1 ゼネスト宣言. 01/20 学校給食実施. 03/31 教育基本法・
04/01 6・3・3学制発足. 04/07 労働基準法公布. 04/14 独占禁止法公布(7.20施行). 04/20
第1回参議院議員選挙. 05/03 新憲法施行 05/20 第一次吉田内閣総辞職. 06/01 片山哲内閣成立. 06/08 日教組結成. 07/03 三井物産・三菱商事の解体を指令. 07/04 初の経済白書を発表. 10/11 配給量だけの生活を守った山口良忠判事, 栄養失調で死亡等々

未だ平和とか文化を語る余裕は無かったと思われる中であって平和、観光、文化が語られています。この歌詞は公募作品という事ですが作詞者の先見性に敬意を表すると共に我々市民は市歌にある言葉を言葉だけに終わらせてはいけないとの思いを強くしました。

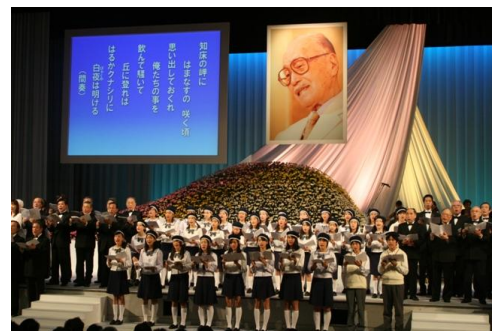
森繁さんが我々に書き遺した言葉「心の豊かさを持った、ぬくもりのある街であってほしい。」と共に次代に語り継いでゆかなければならないと強く感じました。

作詞：辰巳利郎 作曲：高木和夫

1.流れはつきぬ 大淀の 水の恵みの あまねきに
豊公以来 幾百年 栄えを世々に 重ねつつ
いまはつらつと ひらけゆく **平和**の郷土 枚方市

2.京阪二都に 半ばして 由緒も古き 名どころや
ながめも清く 人和せば **観光**の客 跡たたず
見よ日に月に 新興の **文化**の郷土 枚方市

3.一望十里 豊かなる 天与の幸の ありがたさ
産業おこり 家栄え 生氣はあふる やちまたに
ああ精進に **躍進**に 希望の郷土 枚方市



軽快に 作詞 辰巳利郎
作曲 高木和夫

mf な が ー れ は つ き ぬ おー おー よ どの みー

p ず の め ぐ み の あ ま ね き ー に ほ う こ う

mf い ら い ー く ひ ゃ く ね ん さ か え を よー よ に

mp か さ ね つ ー つ い ま は つ ら つ ー と ひー ら け ゆ

く へー いー わ の きー ど ひー ら か た し

写真・楽譜・歌詞は枚方市のホームページより転載

そして、**平和～観光～文化～躍進**の言葉から思い起こされるものを言葉だけでなく形でも次世代残すことで森繁さんや作詞者辰巳さんの言葉に応えなければならないのではなからうか？

鳥居貞義☆Ed.☆記